

ー臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願ー

現在、循環器内科では、国立循環器病研究センター心臓血管内科と共同で実施する下記研究のために、本学で保管する下記の診療情報等を下記研究代表機関に対して提供しています。

この共同研究の詳細をお知りになりたい方は、下記の本学での研究内容の問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先まで直接ご連絡ください。尚、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対して利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、同じく本学での問い合わせ担当者もしくは研究代表機関の問い合わせ先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【共同研究課題名】 JROAD/JROAD-DPCを用いた急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼにおける重症化因子・治療法解明のための多施設登録研究

【共同研究の研究代表機関及び研究代表者】

研究代表機関・研究代表者：国立循環器病研究センター・心臓血管内科 医長 浅海泰栄
本研究に関する問い合わせ先：国立循環器病研究センター・心臓血管内科 医長 浅海泰栄
電話：06-6170-1070（応対可能時間：平日9時～17時）

【利用・提供の対象となる方】

2012年4月1日から2023年3月31日に、当院循環器内科において甲状腺クリーゼに対して入院加療をされた患者さんです

【利用・提供している診療情報等の項目】

診療情報等：診断名、年齢、性別、基礎心疾患、検査内容と結果および治療内容

【利用・提供の目的】（遺伝子解析研究：無）

甲状腺クリーゼは、多臓器不全を呈し生命の危機に直面しうる緊急治療を要する疾患であり、急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼの中には、大動脈内バルーンポンピングや静脈脱血-動脈送血体外式膜型人工肺などの経皮的機械循環補助が有効な症例があると考えられますが、どのような症例に適しているかはまだ明らかではありません。本研究は、治療に際し機械的循環補助を必要とする急性心不全を合併した甲状腺クリーゼの特徴を究明し、治療に反映させる目的で実施します。

本研究は、日本循環器学会が実施する循環器疾患診療実態調査のデータベース（JROAD、JROAD-DPC）を用い、急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼ患者さんの特徴や治療内容、予後に関する解析および診療実態の把握を行う研究A、さらに研究Aから抽出された全国の施設に協力を依頼し、対象患者さんの診療内容の詳細および長期予後に関する二次調査・解析を行い、急性非代償性心不全を合併した甲状腺クリーゼの診断・治療・予後における現状の把握を目的とする研究Bの二本立てで計画されています。

【主な共同研究機関及び研究責任者】

1. 東京女子医科大学 循環器内科・教授・講座主任 山口 淳一

【研究実施期間および主な提供方法】

期間：倫理審査委員会承認後より2030年3月31日までの間（予定）

提供方法：☐直接手渡し ☐郵送・宅配 ☒電子的配信 ☐その他（ ）

【この研究での診療情報等の取扱い】

倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

【東京女子医科大学における研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：循環器内科 教授・講座主任 山口 淳一

研究内容の問い合わせ担当者：循環器内科 鈴木敦

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）

【東京女子医科大学における機関長】

理事長 清水 治